

## ペダルモードと電動モードの切替が可能なハイブリッドバイクの自転車レーン走行実証の実施を受けての見解

### 実証結果

- 実証の参加者へのアンケート結果より、自転車通行可の歩道を走行した際の安全性について、安全、もしくは注意すれば安全との回答が80%以上を占めた。
- また、規制緩和すべきとの回答が80%以上を占めたが、歩行者の安全を優先させたいという思いから、規制緩和すべきでないという回答も15%程度あった。

### 経済産業省見解

- アンケート結果より、本実証で使用したハイブリッドバイクのペダル走行時の機能性、安全性は、自転車に劣後しないものとする。
- 事業者は、以下の4つの仕組みを導入することを条件に、ペダルモードに切り替えたハイブリッドバイクを自転車として扱うことを要望している。
  - ①ペダルモードへの切り替え時にモーターへの電源をカットすること。
  - ②モード切り替え時にナンバープレートにカバーをかける機構又は交通標識デザインに沿ったピクトグラムを導入し、モーター駆動かペダルモードかの視認性を確保すること。
  - ③モードの切り替えを停車中のみ可能とすること。
  - ④利用者において①から③の機構を容易に改造できないものとする。
- 上記の仕組みは第10回革新的事業活動評価委員会で警察庁より示された懸念に答えるものであるかと考えられるが、その安全性の確保については今後更に検討していく必要がある。
- 上記の仕組みを導入することにより、アンケート結果における懸念事項となっていた歩行者の安全についても担保が確認できるのであれば、妥当な措置と考える。
- 経済産業者としては、事業者の要望実現のため、規制所管省庁の求める安全性の担保ができるのであれば規制緩和を認めても良いと考える。